

■ 新聞閲覧

編集長が選ぶこのニュース



福田産地、UAと協業で素材開発

別珍・コーデュロイの静岡県磐田市福田町は、中小企業の05年度「JAPANブランド育成事業」に採択されたことを受け、別珍とコールテンの産地ブランド「ソルブレベコ」を育成する。「ソルブレベコ」は生地と製品のブランドとして商標登録を申請した。セレクトショップとの取り組みではユニテッドアローズ(UA)と組み、生地開発を進めている。尾州産地でも産地ブランド「JB(ジョイント・尾州)」の育成、展開が進んでいるが、福田産地の同ブランドは専用の織りネームと下げ札を作り、最終アパレル製品に配布する。(「織研新聞」)

《コメント》

同産地はパイル織物をカットして作る起毛生地の別珍・コーデュロイを明治後期から生産してきた。尾州産地と同様に製織からパイルのカット、染色整理まで幅広い業種が集積し、各段階に職人芸が存在している。

しかし、中国など海外素材に押され、産地規模は急速に縮小し、転業・廃業などで産地の空洞化が進んだ。多品種少量、短納期型の

生地納入対応や、委託加工から企画提案への脱皮にも迫られている。

そこでJAPANブランドの発信を通じて、別珍・コーデュロイの知名度を上げ、ブランド育成と併せて短納期型の生産方式の検討を産地全体で進め、企画から製造・販売までのテキスタイル一貫体制の仕組み作りを目指すことにしたもの。

今年度はセレクトショップやSPA(製造小売業)型専門店と共同で生地開発を進めるほか、JC(ジャパנקリエーション)などでPR活動も行うが、セレクトショップではユニテッドアローズ(UA)と組み、生地開発を進めている。

この成果を披露するため、11月12～20日、東京・原宿のディストリクトユニテッドアローズで「ソルブレベコ」を使ったメンズスーツやジャケットを展示する。色の選定や生地提案の仕方などを学ぶのが目的。

ホームページも開設して、同ブランド紹介を行うが、セレクトショップと組んだ点、製品まで展開する点が注目される。

ソトー、ナノテックスとライセンス契約

ソトーはアメリカの加工溶剤メーカー・ナノテックス社とライセンス契約を結んだ。

同社の撥水・撥油などの機能加工「ナノテックス」でウールを中心にテキスタイルメーカーからの委託加工に応じる。(「織研新聞」)

《コメント》

ナ社のナノテックス加工は撥水・油、撥水・油と形態安定、親水速乾などあり、それぞれにサブブランドが付いていたが、今年か

ら「ナノテックス」に統一された。テキスタイルメーカーは売り先とブランド、素材の混率、加工数量、適用アイテムなどの情報をソトー経由でナ社に照会し、ナ社はこれをもとに加工指示をソトーに出すとともに、専用のラベルも無償で配付する。加工数量などを管理することで、効率化がはかれるが、本場のナ社とソトーが提携したことで、尾州産地の差別化・付加価値素材の選択肢が広まった。